

二ともに生きる暮らしをめざして二
尾張地域福祉を考える会
まごころサービス尾張センター

コスモス通信

平成5年11月1日 No. 5
〒491 一宮市花池4丁目4番22号
☎ 0586-45-9715

朗報



朝日厚生文化事業団の助成金が いただけることになりました

私達は、会の資料、会報、チラシ等の印刷に苦慮しており、コピー機か輪転機が欲しいと思ってましたところ朝日厚生文化事業団の助成金を知り、この8月に応募致しました。発足したばかりで何も実績がなく半ば諦めておりました所、思いもかけず朝日新聞一宮支局の足立さんから助成が受けられるという連絡をいただき、皆さんで大喜び致しました。

助成金で輪転機を購入し、会の活動をより発展させる為に存分活用したいと思っております。本当にありがとうございました。

尚、応募に当たって提出資料の一つであります輪転機の見積書作成に格別のご配慮をいただきました一宮ビジネスセンターさんに心から感謝申し上げます。

11月の予定

1日(月)	コスモス通信発行 定例会 午後1時~2時 講習会 輪転機 2時~3時
2日(火)	運営委員会 会の説明会 午後3時~4時(輪転)
3日(水)	お休み(文化の日)
4日(木)	一宮寮ボランティア
8日(月)	一宮寮ボランティア
9日(火)	運営委員会
11日(木)	一宮寮ボランティア
13日(土)	愛知福祉フェスティバル勤
14日(日)	"
15日(月)	一宮寮ボランティア
16日(火)	運営委員会
19日(金)	福祉バザー搬入
20日(土)	みんなと一緒に福祉とボランティアのバザー参加
21日(日)	"
22日(月)	一宮寮ボランティア
23日(火)	お休み(勤労感謝の日)
25日(木)	一宮寮ボランティア
26日(金)	一宮在宅療養支援システム実務者会議
30日(火)	運営委員会

共に生きる暮らしをめざし、在宅福祉サービスを地域で発足致しましてはや半年を迎えます。地域に「安心の窓口」をみんなの手で作りたい、という願いはたくさんの方々のご援助をいただき、ほんの一步ではあります。踏み出せたような気が致しております。

誰もが安心して 老後を迎えたい。

当センターは、日頃から幅広い方々との問題について考える機会を持ちたいと思っております。是非ともご参加ください。そして、意見を交わしあい、地域に安心のネットワークを皆さんと一緒に作っていききたいと思っております。

開設記念講演会

テーマ

「これからの福祉を考える」

講師 日本福祉大学教授 沢田清方氏
日時 平成五年十二月一日(水)
午後一時三十分~三時十分
場所 一宮スポーツ文化センター
二階 第一会議室

◆講演後、バザーを行います。

沢田清方先生プロフィール
1939年新潟市に生まれる。日本福祉大学社会福祉学部卒業。兵庫県社会福祉協議会で福祉活動指導員として26年間活動。地域福祉・在宅福祉の確立のため陣頭指揮にあたった。入浴サービスボランティア「KOBEBふれあいの会」を設立。神戸市の在宅福祉推進に現場サイドからボトムアップ。1990年日本福祉大学に。デンマークの福祉を数回にわたって視察研究。そのスライドを手に、巡回中。神戸市在住。
著書に「在宅福祉-社協サイドのアプローチ」(ミネルバ書房)、「地域福祉-今問われているもの(共同執筆)」(ミネルバ書房)など多数。

12月の定例会は

12月6日(月) 午前10時~11時30分 思いやり会館です。
協力会員さんは必ず出席して下さい。
この日はケアはお休みです。利用会員さんご了承下さい。

この意見書の中で、「ボランティアの今日的意義」と題し、私達のような住民参加型在宅福祉サービスが、有償であってもボランティア活動である、と認めていくことを提言しています。

◆内容は次の通り

助け合いの精神に基づき、受け手と担い手との対等な関係を保ちながら謝意や経費を認め合うことは、ボランティアの本来の性格からはずれるものではないと考える。また、このことは、経済的にゆとりのある人だけではなく、活動意欲のある人は誰でも、広く公平に参加する機会が得られるためにも必要である。

—中央社会福祉審議会地域福祉専門分科会意見書—
平成五年七月二十九日

尾張地域福祉を考える会
まごころサービス尾張センター